

学校だより



春里



学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

平成29年度 10月1日号

さいたま市立春里中学校

「充実の秋」

校長 松井 秀史

9月16日は文化祭を行い、9月24日からは新人戦が始まりました。3年生は自分の進路決定に向けて学習に力が入っています。「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」「実りの秋」「食欲の秋」等何をするにも適した季節です。生徒一人ひとりが真剣なまなざしで本気になって活躍する姿がたくさん見えるときです。一年生は春里中学校の一員としての顔つきになりました。二年生は学校を中心としての役割をしっかりとこなせるようになりました。三年生は自分の進路に向けて真剣に取り組む姿が見えてきました。中学生時期の一年一年の成長ぶりに感心するとともに、まだまだこれから前進していく生徒たちをより一層応援したくなる二学期です。

芸術の秋（文化祭）

先日行われた文化祭では、生徒が作り上げた芸術的な春里中学校に触れることが出来ました。私は生徒に開会式で「この文化祭で次の2点について学んでほしい」と話しました。

《鑑賞・見学の態度を身に付ける。》

《文化的な活動について知り、興味を深める。》

文化祭の内容は「英語弁論」（学校代表生徒による英語での弁論）「国際交流発表」（さいたま市中学生国際交流事業春里中代表としてニュージーランドで体験した内容に関する発表）「ギター・マンドリン部発表」「吹奏楽部発表」「美術部・科学部・生活部の展示発表」に加えてオーディションで合格した生徒有志によるパフォーマンス披露もあり、春里中学校で行われている文化活動に浸ることが出来ました。参観する生徒たちの鑑賞態度も素晴らしく、発表者と一緒になって盛り上がり、学校全体が一つにまとまって文化祭を作り上げた一日となりました。とくに、有志による発表は、オーディションの時と比べてはるかに成長しており、「新体操」「歌唱」「ダンス」「楽器演奏」「劇」など春里中学校の伝統と言えるも



のになりました。

スポーツの秋（運動部新人戦）

9月24日（日）より「さいたま市中学校新人体育大会」が始まりました。この日は陸上競技部の大会だけでしたが、9月30日（土）からは各運動部の試合が行われます。どの運動部も3年生が引退し、2年生が部活動の中心として練習も頑張ってきました。生徒会本部や文化部の生徒たちによる壮行会も開かれ、学校中で応援する雰囲気となりました。各会場で春里中らしいさわやかなパフォーマンスを見せてくれるように期待しています。



3年生進路決定への道

3年生にとっては義務教育終了まであと半年となりました。9月27日には「進路説明会」が行われ、入試やこれからの予定等を確認させていただきました。高校進学希望の生徒は勉強にも力を入れながら、入試の手続き等も保護者に任せずに自分の責任で滞りなく進めなくてははいけません。就職を考えている生徒にとっては学校での生活は最後です。自分の人生を自分の力で切り拓いていく準備期間もあと少ししかありません。「焦らず、恐れず、あきらめず」に、卒業まで全力で自分を高めてくれることを願っています。

ちょっと一言・・・

最近、学校中が緊張感に包まれているように感じます。1、2年生は「新人戦で自分たちの力を上手に出し切れるだろうか」とドキドキし、3年生は「受験」「就職」という経験したことの無い大きな壁に向かって進まなくてははいけない恐怖を感じているでしょう。どの生徒も陰しい山を越えた後、より一層大きく強く成長してくれることと信じています。 がんばれ春里中生！

